

指定管理者モニタリング評価シート

評価対象年度： 令和 2 年度

施設所管課： 浜玉市民センター総務・福祉 課

1 施設の概要

施設名	唐津市浜玉町世代間交流センター「やすらぎ荘」	所在地	唐津市浜玉町東山田 2 2 0 1 番地外
設置目的	野田の湯を利用し市民相互の世代間交流を図ることにより、市民の融和と保健福祉の増進に寄与する。		
休館日	第 3 木曜日	開館時間	午前 1 0 時から午後 9 時まで

2 施設の利用状況

説 明	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	利用状況の傾向と増減の要因
利用人数	82,177 人	81,323 人	76,699 人	59,976 人	施設が築18年経過し下水道への切替や基幹設備の入替を行っているが、コロナ禍の影響を受け利用者数は減少傾向。
	人	人	人	人	
	人	人	人	人	

3 指定管理者の概要

指定管理者	名称	ケービックス株式会社大阪支社			
	所在地	大阪市北区曽根崎新地 2 丁目 2 番 1 6 号			
	代表者	専務取締役 角田 正己			
指定期間		平成 29 年 4 月 1 日 ～ 令和 4 年 3 月 31 日			
指定管理者の業務内容		・唐津市浜玉町世代間交流センター条例、施行規則に基づく施設の利用許可 ・施設及び設備の維持管理業務			
事業の実施状況		・施設利用許可及び施設利用料の徴収 ・施設及び設備の維持管理業務（貯水槽保守管理ほか 1 4 業務）			
職員の配置状況	常勤 正規職員、フルタイム等	非常勤 嘱託・臨時職員、パート等	常勤の内訳		
	1 人	9 人	支配人		

4 収支状況

単位：円

	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	増減額
収 入 (a)+(b)+(c)+(d)	21,785,155	28,474,195	-6,689,040
指定管理料 (a)	1,018,000	1,009,259	8,741
利用料金収入 (b) ※利用料金制の場合のみ	15,282,810	22,100,140	-6,817,330
事業収入 (c)	2,844,250	4,623,328	-1,779,078
物品売払等	2,091,157	2,201,249	-110,092
テナント料金	4,000	1,151,520	-1,147,520
—			
その他	749,093	1,270,559	-521,466
その他収入 (d)	2,640,095	741,468	1,898,627
支 出 (e)+(f)+(g)+(h)+(i)	20,494,353	23,975,031	-3,480,678
人件費 (e)	8,406,112	8,844,084	-437,972
施設管理費 (f)	10,303,070	13,457,014	-3,153,944
光熱水費	3,615,769	5,010,664	-1,394,895
修繕費	186,600	199,900	-13,300
広告宣伝費	2,288	9,000	-6,712
委託料（再委託）	1,590,870	1,636,695	-45,825
保険料	179,720	179,720	
事務費	985,623	924,755	60,868
その他	3,742,200	5,496,280	-1,754,080
事業費 (g)	1,619,893	1,432,398	187,495
うち自主事業に伴う 経費	1,619,893	1,432,398	187,495
施設使用料 (h)			
その他支出 (i)	165,278	241,535	-76,257
収支	1,290,802	4,499,164	-3,208,362
利益配分額			

※昨年度の令和元年度の収入の報告において、自主事業の収入を「事業収入」に計上すべきところを誤って「利用料金収入」に計上していたため、今年度の報告において修正しています。

5 項目別評価

評価項目		自己評価	市の評価
評価の視点			
1 業務の履行状況			
(1) 運営業務（全般）			
①運営管理	条例、協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守しているか。	適	適
	使用料または利用料金の徴収、減免手続き等を適切に行っているか。	適	適
	施設の利用者数、稼働率を適切に管理しているか。	適	適
②人員体制	施設の管理運営に必要な資格、経験等を有する人員が過不足なく配置されているか。	適	適
	従業員の労働条件は適正であるか。	適	適
	従業員の資質向上のための指導、研修等を適切に実施しているか。	B	B
③管理記録	業務日誌等を適切に記録し、保管しているか。	適	適
④連絡調整	協定書等に定めた各種報告書を、期限内に市に提出しているか。	適	適
	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか。	適	適
⑤危機管理	基本協定に定めるリスク分担に従い、適切な対応を行っているか。	適	適
	緊急時に直ちに措置を講じ、市に報告を行ったか。	適	適
	緊急時の連絡体制、マニュアルを整備し、定期的に研修、訓練等を行っているか。	B	B
⑥個人情報保護	個人情報保護に関する法令等を遵守しているか。	適	適
	施設利用者等の個人情報の漏洩、滅失等の事故防止策を講じているか。	適	適
(2) 維持管理業務			
①維持管理	省エネルギー、省資源など環境への配慮がなされているか。	適	適
	施設や設備、備品等の保守管理（点検や修繕等）を適切に行っているか。	A	A
	清掃、警備、衛生管理その他施設管理に必要な業務を適切に行っているか。	A	A
②再委託	再委託にあたり、事前に契約方法及び契約事項を市に報告しているか。	適	適
	再委託先からの業務報告を受けるなど、履行状況を適切に管理しているか。	適	適

2 サービスの質			
(1) 運營業務（利用者対応、情報発信等）			
①利用者対応	施設利用者に対して、設備、備品等を適切に提供しているか。	適	適
	施設の利用許可、案内等を迅速かつ適切に対応しているか。	適	適
	施設利用者への言葉使い、態度、服装等、接遇が適切であるか。	適	適
②苦情等対応	要望、苦情等を整理し、遅滞なく市に報告しているか。	適	適
	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応しているか。	A	A
③利用者アンケート	適切な利用者アンケート調査を実施し、その結果が良好であるか。	A	A
	利用者アンケートの結果に基づき、適切な改善策を講じているか。	A	A
④施設の利用状況	施設の利用者数、稼働率等に関する目標を達成しているか。	B	B
⑤情報発信	利用者の利便性向上のため、ホームページ等の更新、管理を適切に行っているか。	適	適
	各種媒体を利用し、事業、イベントの開催案内等の広報を適切に行っているか。	A	A
(2) 事業実施状況			
①事業実施状況	事業計画に定めた事業を適切に実施しているか。	適	適
	施設の設置目的に沿った自主事業を実施し、市民サービスの向上が図られたか。	A	A
(3) 地域貢献			
①地域貢献	地元雇用を積極的に行っているか。	適	適
	地域の意向に沿った運営や、地域活動への参加・協力を行っているか。	B	B
	地元事業者からの物品調達など、地元を活用した運営がなされているか。	A	A
3 継続性・安定性			
(1) 運營業務（経理事務、予算執行等）			
①経理事務	専用口座、帳簿等を備え、指定管理業務に係る経理区分が明確に整理されているか。	適	適
②予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行しているか。	適	適
③取引状況	取引先等の関係業者との関係は良好であるか。	適	適
(2) 収支状況			
①経費縮減	施設の管理運営に係る経費が縮減されているか。（経費削減に努めているか。）	A	A
②収入増加	収入増加のための取り組みがなされているか。	A	A
③収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当であるか。（目標を達成しているか。）	B	B

※ 上記の評価項目、評価の視点は標準的なものであり、施設の特性に応じて調整（追加、削除）を行うこととする。

6 総括評価及び総合評価

総括評価	1 業務の履行状況	A	指定管理者の管理運営に対する評価・コメント 施設の設置目的を把握し、条例及び規則等を遵守し概ね適正に管理運営されている。支配人を軸とした施設のきめ細やかな清掃や来場者へのサービスが地元の愛好者に喜ばれたほか、新たに子どもや若者世代へもイベントを企画し集客に努められた。事業者がおらず空き店舗状態となっていた食堂は、令和3年4月から地元の障がい者事業所との契約を行い、施設の利用促進につながっている。
	2 サービスの質	A	
	3 継続性・安定性	A	
総合評価		A	